

ノダケモドキ *Angelica hakonensis* Maxim. var. *nikoensis* (Yabe) H.Hara

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 3、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 13。分布域の狭い植物で、愛知県はその西限にあたる。県内では生育地も個体数も少ない。

【形態】

多年生草本。高さ 30~120cm になる。葉は互生し、下部の葉には長い柄があり、葉身は 2 回 3 出複葉、小葉はさらに 3 裂することがあり、小葉や裂片は卵形~楕円形、大きいものは長さ 15cm くらいになり、先端は鋭尖頭、辺縁には鋸歯があり、洋紙質、裏面は淡色である。茎の上部につく葉の葉柄は淡色で、袋状にふくらむ。花期は 8~9 月、花序は複散形で枝の先端につき、花序の枝は 8~15 本、長さ 1~3cm、花は小さく、緑白色、白色または帯紫色である。果実は楕円形で、広い翼がある。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (芹沢 94481, 2018-9-2)、7 設楽東部 (芹沢 63033, 1992-9-4)。西：5 稲武 (小林 39978, 1992-10-2)、19 旭 (小林 48276, 1993-10-2)。

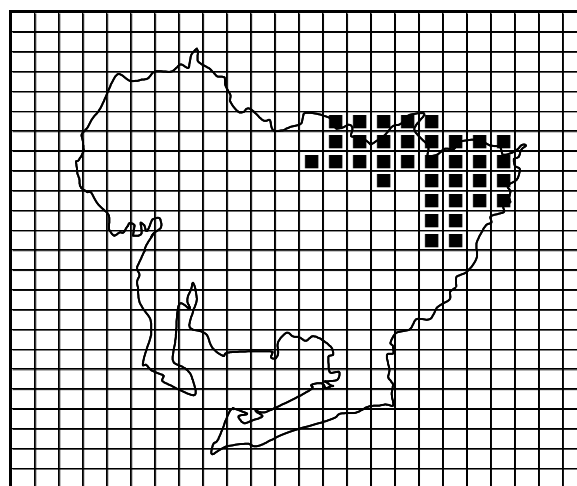
【国内の分布】

本州 (関東地方、中部地方)。

【世界の分布】

日本固有変種。種としても日本固有である。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の岩場やガレ場などに生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

生育地は限られており、個体数も少ない。道沿いにあるものは、道路の拡幅等により失われるおそれがある。

【保全上の留意点】

生育地の個別的な保全が必要である。道路工事に際しては、特に注意を要する。

【特記事項】

基準変種のイワニンジンに比べ、小葉はややまばらにつき、花序がやや大きい。

【関連文献】

保草本Ⅱ p.27, 平草本Ⅱ p.288, 平新版 5 p.390.